

イチゴの果実内の糖度分布を測定する

福島県農業総合センター生産環境部
平成18年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

野菜 - イチゴ - 生理生態
分類コード 03-07-04000000

2 担当者

武地 誠一

3 要旨

イチゴ果実内部の糖度(Brix値)は、いずれの果実においても、基部から先端、髓部から表皮に向かって規則的に上昇する。

- (1) 「ふくはる香」、「ふくあや香」、「とちおとめ」の果実を細断し、果実内部の糖度分布を調査した結果、部分によって大きく異なった。
- (2) 平均的な糖度は品種、果実個体によって異なるが、果実個体の軸方向への糖度変化はいずれも基部から先端に向かって規則的に上昇した。
- (3) 糖度の最先端部 / 最基部比はおよそ1.8～2.5であった。
- (4) 果実個体の軸方向から垂直方向への糖度変化では、いずれも髓部から表皮部に向かって規則的に上昇した。
- (5) 糖度の髓部 / 表皮部比はおよそ1.2～1.6であった。
- (6) なお、pHは基部～先端でほとんど差がなかったが、表皮部は髓部に比べて約0.5低かった。

4 その他の資料等

なし